

## <取材のお願い>

2023年3月1日

新潟医療福祉大学

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

さくらサイエンスプログラム推進本部

### ベトナムの医療福祉分野を担う教員が包括的高齢者ケアを学ぶ ～課題解決に向けて将来を見据えた日越交流～

新潟医療福祉大学では3月7日(火)～3月14日(火)、ベトナムのハイズオン医療技術大学から教員5名を招き、包括的な高齢者ケアについて学ぶ体験プログラムを行います。

本学は健康・医療・福祉の教育人材育成に特化した大学であり、かつ現場で特別養護老人ホーム・老人デイサービスなどの福祉事業を提供する社会福祉法人や、医療・リハビリテーションを病院で提供する医療法人と強いつながりをもっています。一方、ハイズオン医療技術大学は、ベトナム北部において医療従事者を育成する中核的大学の一つで、来たるべき社会的要請に対応できる医療専門職の養成のため、新学科設立とそのための教員養成を急いでいます。

日本と同様に、ベトナムにも高齢化の波がすでに迫っています。しかし、現段階では「高齢者は家族が面倒をみる」という伝統が根強く、社会全体として対策を具現化するところには至っていません。本プログラムでは、医療福祉分野において今後ベトナムのリーダー的役割を担う招へい者たちに、本学での座学に加え、医療施設・福祉施設での体験を通じて「高齢者ケアに関する日本の包括的アプローチ」について伝えます。現場での利用者・職員との交流や聞き取りから、招へい者たちが「何を対策として行っているのか」「なぜ、その対策が選ばれているのか」について、総合的に学ぶことが目的です。「なぜ」の部分について理解を深めることで、彼らが将来的に、ベトナムの制度・文化的背景に合わせた対策をアレンジしていく第一歩となることが期待できます。

本プログラムは科学技術振興機構 (JST) 主催の「国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム)」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業 (さくらサイエンスプログラム)」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、本学での座学の様子、各施設での体験交流の様子、最終日前日のプレゼンテーションの様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の久保雅義国際交流センター長へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

#### 【実施内容】

- 座学
- 新潟リハビリテーション病院、五十嵐コミュニティハウス「幸齢ますます元気教室」、グループホームおやま、リビングサポートおやま訪問
- アクションプランの作成、プレゼンテーション、意見交換会

#### 【研修日程概要】

- |          |    |                               |
|----------|----|-------------------------------|
| 3月7日(火)  | 午後 | 新潟着                           |
| 3月8日(水)  | 午前 | 招へい者によるプレゼン：ベトナムの高齢者対策の現状の把握  |
|          | 午後 | 座学：日本の文化的背景・制度の変遷（高齢者包括ケア）    |
| 3月9日(木)  | 午前 | 座学：医療の提供（高齢者包括ケア）             |
|          | 午後 | 新潟リハビリテーション病院・脳梗塞リハビリセンター新潟訪問 |
| 3月10日(金) | 午前 | 座学：介護とその予防                    |
|          | 午後 | 五十嵐コミュニティハウス「幸齢ますます元気教室」訪問    |
| 3月11日(土) | 午前 | 座学：住まい（包括ケア）                  |
|          | 午後 | グループホームおやま・リビングサポートおやま訪問      |
| 3月12日(日) | 午前 | 座学：生活支援（包括ケア）                 |
|          | 午後 | ハイズオン医療技術大学におけるアクションプランの作成    |
| 3月13日(月) | 午前 | アクションプランのプレゼンテーション、ディスカッション   |
|          | 午後 | 研修の振り返りセッション、意見交換会            |
| 3月14日(火) | 午前 | 成田へ移動、午後 離日                   |

---

#### ■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

新潟医療福祉大学大学院・国際交流課

担当：嵐田

#### ■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）